

1 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」（昭和40年法律第109号）により、四半期ごとに砂糖および異性化糖の需給見通しを公表している。令和6年9月に公表した「令和6砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第1回）」の概要は、次の通り（詳細は2024年11月号参照）。

令和6砂糖年度（10月～翌9月）の見通し

【砂糖】

総消費量：178万6000トン（前年度比0.4%増）

総供給量：178万3000トン（同2.9%増）

【加糖調製品】

消費量および供給量：37万トン（同2.2%増）

【異性化糖】

消費量および供給量：78万トン（同0.1%増）

表1 令和6砂糖年度における砂糖の需給見通し

（単位：千トン）

		令和5砂糖年度 (実績見込み)	令和6砂糖年度				合計	
			10月-12月	1月-3月	4月-6月	7月-9月		
消費量	分みつ糖	1,743	461.3	409.4	440.3	439.0	1,750	
	含みつ糖	35	7.1	11.2	9.5	7.7	36	
	合計	1,778	468.4	420.6	449.8	446.7	1,786	
供給量	国内産糖	分みつ糖	575	353.2	287.3	11.5	-	652
		含みつ糖	8	1.3	7.4	0.8	-	9
		小計	583	354.5	294.7	12.3	-	661
	輸入糖	分みつ糖	1,142	282.0	192.7	330.9	309.1	1,115
		含みつ糖	7	1.3	2.5	2.0	0.9	7
		小計	1,149	283.3	195.2	332.9	310.0	1,121
	合計	分みつ糖	1,717	635.2	480.0	342.4	309.1	1,767
		含みつ糖	15	2.6	9.9	2.8	0.9	16
		小計	1,733	637.7	489.9	345.2	310.0	1,783
	期末在庫		304	473.6	542.9	438.3	301.6	302

資料：農林水産省「令和6砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第1回）」

注1：分みつ糖は精糖ベースの数量、含みつ糖は製品ベースの数量である。

注2：輸入糖の分みつ糖供給量は、機構売買数量である。

表2 令和6砂糖年度における加糖調製品の需給見通し

（単位：千トン）

	令和5砂糖年度 (実績見込み)	令和6砂糖年度				合計
		10月-12月	1月-3月	4月-6月	7月-9月	
消費量	362	89.2	88.4	90.8	102.0	370
供給量	362	89.2	88.4	90.8	102.0	370

資料：農林水産省「令和6砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第1回）」

注1：改正糖価調整法（平成30年施行）に基づき調整金の対象とされた加糖調製品を対象としている。

注2：消費量は対象となる加糖調製品の輸入量（財務省貿易統計より算出）を踏まえて見通しており、供給量は消費量に見合った量が供給されるものとして見通している。

注3：令和6砂糖年度の消費量は、令和5砂糖年度の輸入実績を踏まえて見通している。

表3 令和6砂糖年度における異性化糖の需給見通し

（単位：千トン）

	令和5砂糖年度 (実績見込み)	令和6砂糖年度				合計
		10月-12月	1月-3月	4月-6月	7月-9月	
消費量	779	174.3	174.8	217.6	213.2	780
供給量	779	174.3	174.8	217.6	213.2	780

資料：農林水産省「令和6砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第1回）」

注：標準異性化糖（果糖55%ものの固形ベース）に換算した数量である。

2 輸入動向

【粗糖の輸入動向】

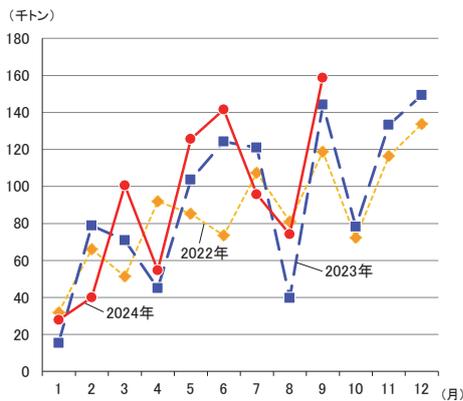
9月の輸入量は前年同月からかなりの程度増加

財務省「貿易統計」によると、2024年9月の甘しや糖・分みつ糖（HSコード 1701.14-110）および甘しや糖・その他（同1701.14-200の豪州）の輸入量は、15万8674トン（前年同月比10.0%増、前月比2.1倍）であった（図1）。

輸入先は甘しや糖・分みつ糖についてはタイ、甘しや糖・その他については豪州で、国・地域別の輸入量は次の通りであった（図2）。

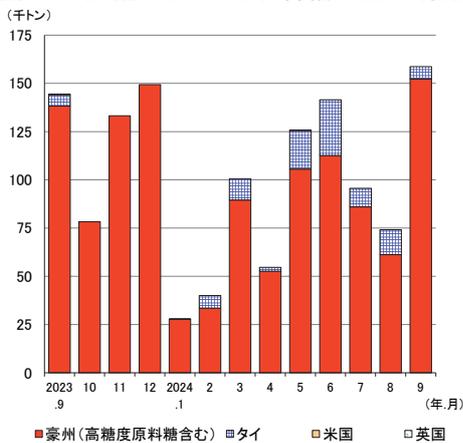
タイ	6446トン
	（前年同月比7.6%増、前月比50.2%減）
豪州	15万2228トン
	（同10.1%増、同2.5倍）

図1 粗糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

図2 粗糖の国・地域別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

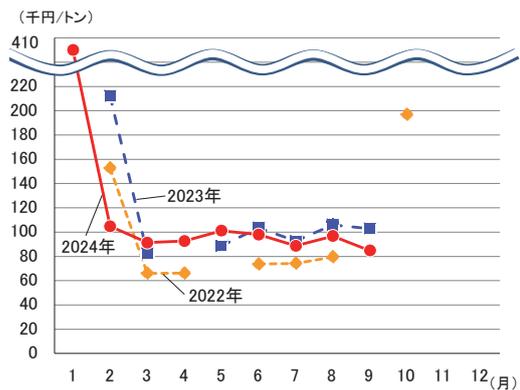
2024年9月の甘しや糖・分みつ糖の1トン当たりの輸入価格は、8万4750円（前年同月比17.6%安、前月比12.4%安）であった（図3）。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

タイ	8万4750円
	（前年同月比17.3%安、前月比12.4%安）

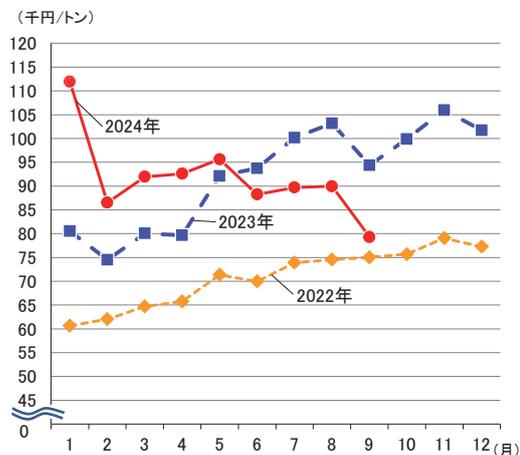
また、同月における甘しや糖・その他の豪州からの高糖度原料糖の1トン当たりの輸入価格は、7万9290円（前年同月比16.0%安、前月比11.9%安）であった（図4）。

図3 粗糖（HSコード1701.14-110）の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：2022年1月、5月、9月、11月、12月、2023年1月、4月、10月、11月および12月は輸入実績なし。

図4 高糖度原料糖（HSコード1701.14-200の豪州）の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

【含みつ糖の輸入動向】

9月の輸入量は前年同月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2024年9月の含みつ糖（HSコード 1701.13-000、1701.14-190）の輸入量は、374トン（前年同月比28.5%増、前月比6.2倍）であった（図5）。

輸入先は中国、フィリピン、コスタリカおよびインドで、国・地域別の輸入量は次の通りであった（図6）。

中国	292トン
（前年同月比7.7%増、前月比8.1倍）	
フィリピン	61トン
（前年同月輸入実績なし、同2.7倍）	
コスタリカ	20トン
（前年同月および前月輸入実績なし）	
インド	1トン
（前年同月輸入実績なし、前月同）	

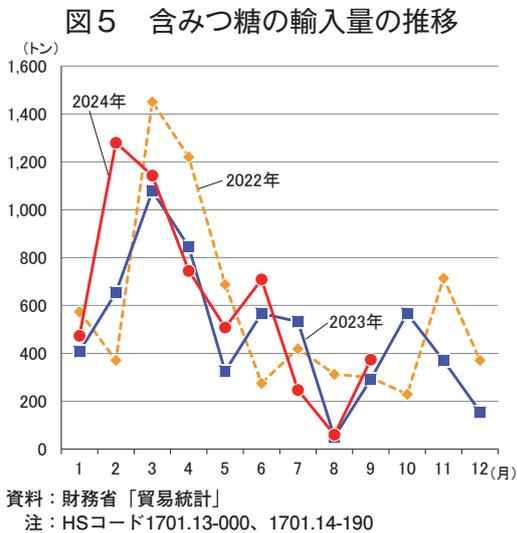
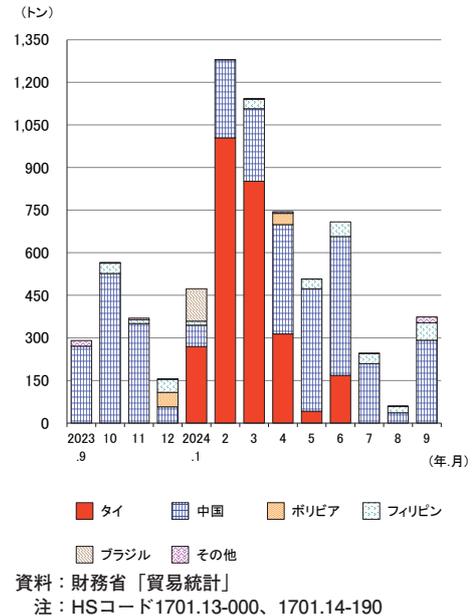


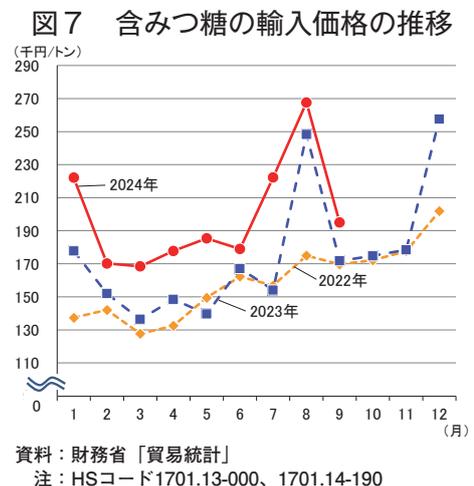
図6 含みつ糖の国・地域別輸入量の推移



2024年9月の1トン当たりの輸入価格は、19万4955円（前年同月比13.5%高、前月比27.1%安）であった（図7）。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

中国	16万9914円
（前年同月比0.2%高、前月比20.7%安）	
フィリピン	29万8098円
（前年同月輸入実績なし、同12.3%安）	
コスタリカ	24万4800円
（前年同月および前月輸入実績なし）	
インド	21万8000円
（前年同月輸入実績なし、前月比58.3%安）	



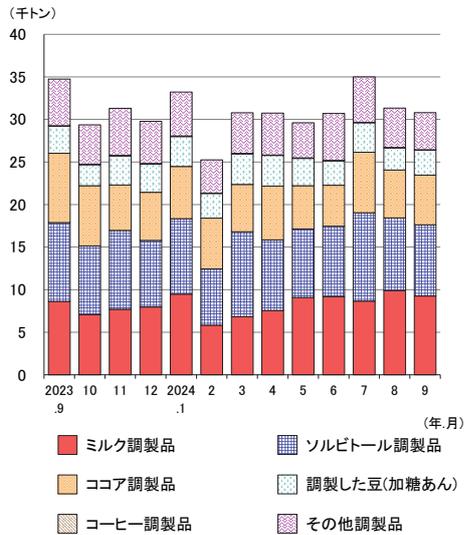
【加糖調製品の輸入動向】

9月の加糖調製品の輸入量は前年同月からかなり大きく減少

財務省「貿易統計」によると、2024年9月の加糖調製品の輸入量は、3万800トン（前年同月比11.3%減、前月比1.7%減）であった（図8）。

品目別の輸入量は、表4の通りであった。

図8 加糖調製品の品目別輸入数量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：各品目のHSコードは、次の通り。

ココア調製品：1806.10-110、1806.10-190、1806.20-112、1806.20-113、1806.20-121、1806.20-129、1806.32-212、1806.32-213、1806.90-212、1806.90-213

コーヒー調製品：2101.11-110、2101.11-190、2101.12-111、2101.12-112、2101.12-246

調製した豆（加糖あん）：2005.40-191、2005.40-199、2005.51-191、2005.51-199

ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-284

ソルビトール調製品：2106.90-510

その他調製品：2008.99-269、2106.90-590、2101.20-246、2106.90-252、2106.90-253、2106.90-281、2106.90-282、2106.10-219

表4 加糖調製品 品目別輸入量（9月）

（単位：トン）

区分	輸入量	前年同月比 （増減比）	前月比 （増減比）
ミルク調製品	9,265	7.3%	▲ 6.3%
ソルビトール調製品	8,358	▲ 9.7%	▲ 2.1%
ココア調製品	5,836	▲ 28.4%	3.6%
調製した豆（加糖あん）	2,954	▲ 7.2%	13.3%
コーヒー調製品	26	▲ 29.3%	▲ 21.7%
その他調製品	4,360	▲ 20.4%	▲ 5.8%
合計	30,800	▲ 11.3%	▲ 1.7%

資料：財務省「貿易統計」

注：端数処理の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

3 異性化糖の移出動向

10月の移出量は前年同月並み

2024年10月の異性化糖の移出量は、6万2403トン（前年同月比0.3%増、前月比2.1%増）であった（図9）。

同月の種類別の移出量は、次の通りであった（図10）。

果糖含有率40%未満 272トン

（前年同月比27.4%減、前月比13.4%増）

同40%以上50%未満 1万6988トン

（同7.7%増、同7.0%増）

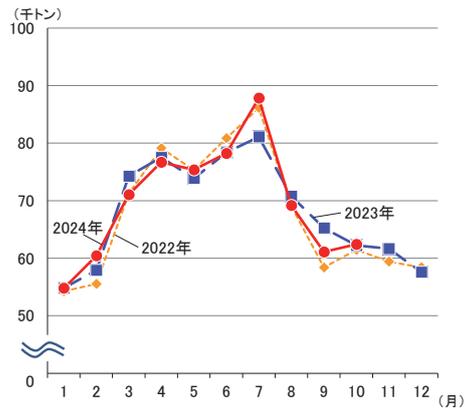
同50%以上60%未満 4万4266トン

（同2.4%減、同0.7%増）

同60%以上 876トン

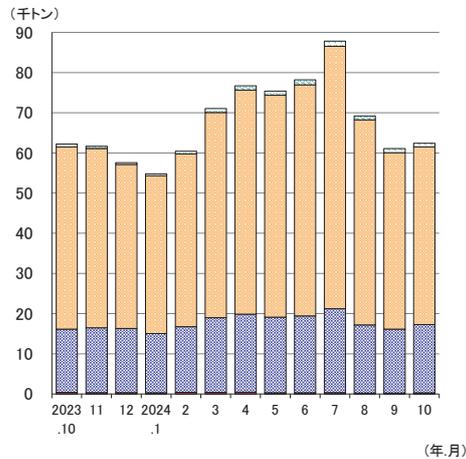
（同19.7%増、同14.8%減）

図9 異性化糖の移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

図10 異性化糖の種類別移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

4 価格動向

【市場価格】

砂糖・異性化糖ともに前月と同水準で推移

10月の糖種別・地域別の砂糖価格（日経相場）は、次の通りであった。

上白糖（大袋）

東京	1キログラム当たり	249～251円
大阪		同249～251円
名古屋		同252円
関門		同254円

上白糖（小袋）

東京	1キログラム当たり	261～265円
大阪		同264～265円

本グラニュー糖（大袋）

東京	1キログラム当たり	254～256円
大阪		同254～256円
名古屋		同257円

ビート・グラニュー糖（大袋）

東京	1キログラム当たり	249～251円
大阪		同249～251円
名古屋		同250円

10月の異性化糖の価格（日経相場、大口需要家向け価格、東京、タンクローリーもの、JAS規格品、水分25%）は、次の通りであった。

果糖分42%もの

1キログラム当たり168～169円

果糖分55%もの

同175～176円

【小売価格】

10月の上白糖小袋の地域間の価格差は最大で59.8円

KSP-POSデータ（全国501店舗）によると、スーパーにおける10月の上白糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、261.1円（前年同月差16.8円高、前月差0.4円安）であった。最も高かったのは中国・

四国で、最も安かった関東などとの価格差は59.8円であった。

同月の地域別^(注)の平均小売価格は、次の通りであった（表5）。

(注) 地域の内訳は、次の通りである（以下同じ）。

関東など：茨城県、栃木県、群馬県、長野県、山梨県、静岡県

首都圏：東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県

中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、三重県、愛知県

関西：大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、和歌山県、奈良県

表5 上白糖の地域別平均小売価格（10月）

(単位：円/kg)

地域	平均価格	前年同月価格差	前月価格差
北海道	278.2	21.0	▲ 13.5
東北	285.4	26.0	▲ 1.3
関東など	235.4	5.0	▲ 2.7
首都圏	248.9	12.3	▲ 0.5
中部	248.7	15.8	0.4
関西	248.6	15.1	3.4
中国・四国	295.2	26.5	1.6
九州・沖縄	252.1	8.4	1.0
全平均	261.1	16.8	▲ 0.4

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ〈全国501店舗〉）

注1：価格は、消費税抜きの価格である。

注2：平均価格は、店舗別商品別の最高価格の単純平均である。

注3：前年同月価格差および前月価格差は、KSP-POSデータ内における価格差である。

10月のグラニュー糖小袋の地域間の価格差は最大で71.0円

KSP-POSデータ（全国501店舗）によると、スーパーにおける10月のグラニュー糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、323.6円（前年同月差28.4円高、前月差4.8円高）であった。最も高かったのは東北で、最も安かった関西との価格差は71.0円であった。

同月の地域別の平均小売価格は、次の通りであった（表6）。

表6 グラニュー糖の地域別平均小売価格(10月)

(単位:円/kg)

地域	平均価格	前年同月価格差	前月価格差
北海道	302.8	38.7	0.9
東北	353.8	30.5	▲0.2
関東など	327.7	35.9	23.8
首都圏	335.2	23.5	5.5
中部	330.8	32.1	4.3
関西	282.8	25.1	5.9
中国・四国	348.2	28.9	0.3
九州・沖縄	308.5	14.6	2.9
全平均	323.6	28.4	4.8

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ〈全国501店舗〉）
 注1：価格は、消費税抜きの価格である。
 注2：平均価格は、店舗別商品別の最高価格の単純平均である。
 注3：前年同月価格差および前月価格差は、KSP-POSデータ内における価格差である。

10月の三温糖小袋の地域間の価格差は最大で61.5円

KSP-POSデータ（全国501店舗）によると、スーパーにおける10月の三温糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、307.1円（前年同月差22.7円高、前月差3.2円高）であった。最も高かったのは中国・四国で、最も安かった関西との価格差は61.5円であった。

同月の地域別の平均小売価格は、次の通りであった（表7）。

表7 三温糖の地域別平均小売価格(10月)

(単位:円/kg)

地域	平均価格	前年同月価格差	前月価格差
北海道	312.5	23.4	▲5.6
東北	340.0	41.6	0.6
関東など	298.6	34.0	18.3
首都圏	288.5	13.2	1.3
中部	316.8	29.6	7.2
関西	278.9	14.3	5.1
中国・四国	340.4	23.2	▲0.1
九州・沖縄	288.4	14.5	1.5
全平均	307.1	22.7	3.2

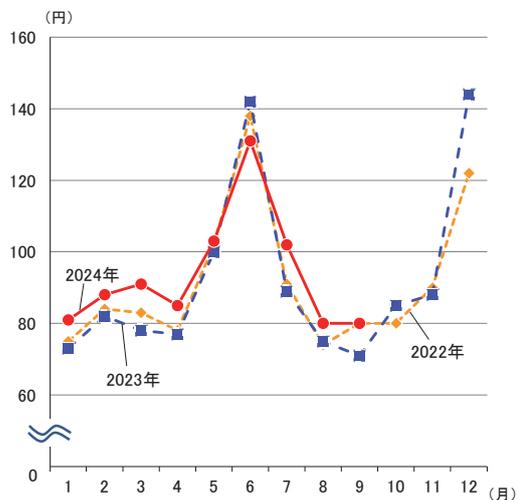
資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ〈全国501店舗〉）
 注1：価格は、消費税抜きの価格である。
 注2：平均価格は、店舗別商品別の最高価格の単純平均である。
 注3：前年同月価格差および前月価格差は、KSP-POSデータ内における価格差である。

【支出金額および購入数量】

9月の砂糖の支出金額は前年同月からかなり大きく上昇

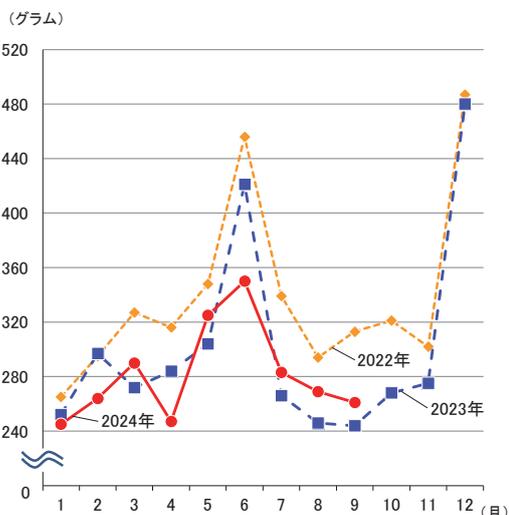
総務省「家計調査」によると、2024年9月における100世帯当たりの砂糖の購入頻度は26回、1世帯（二人以上）当たりの支出金額は80円（前年同月比12.7%高、前月同）であった（図11）。また、同月の1世帯当たりの砂糖の購入数量は、261グラム（同7.0%増、同3.0%減）であった（図12）。

図11 1世帯当たりの砂糖に係る支出額の推移



資料：総務省「家計調査」

図12 1世帯当たりの砂糖の購入数量の推移



資料：総務省「家計調査」